

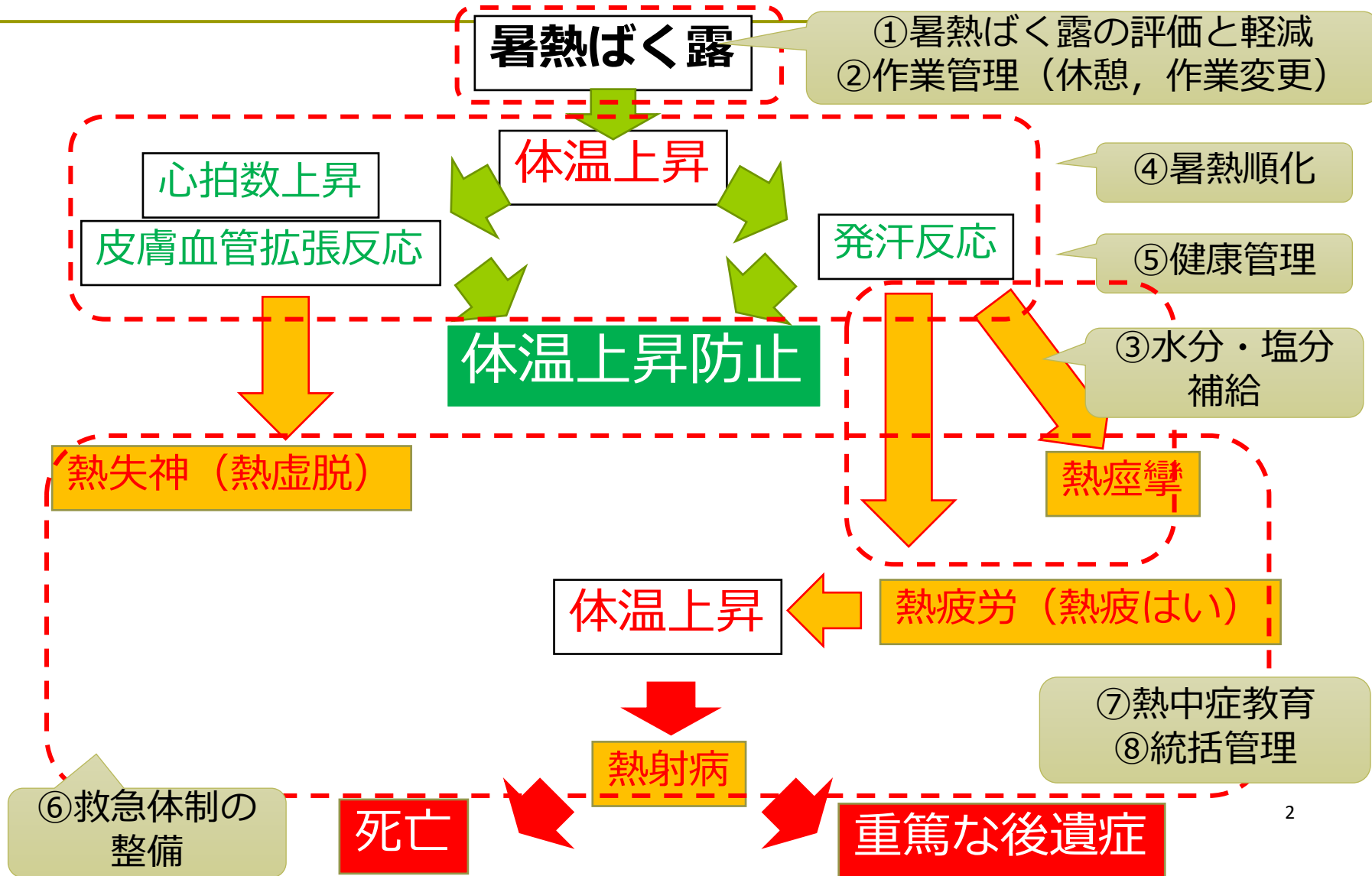
熱中症予防対策の好事例

講師：齊藤宏之

(独) 労働者健康安全機構
労働安全衛生総合研究所



熱中症のメカニズムと 熱中症予防に必要な対策



熱中症予防対策における好事例

- 熱中症を予防するために行う対策には様々な方法があります。
- しかしながら、お金がかかる対策や場所を取る対策等、小規模な現場や事業所には難しいものも多くあるのが現状です。
- それでも、色々工夫している企業はたくさんあります。
- 他社でうまくいっている方法を参考にすることが成功への第一歩です。
- ここでは、特に小規模現場や中小規模の事業所にて参考になる事例について、紹介します。

休憩所の整備

- 熱くなった体を冷やし，体を休めることができる休憩所の整備は，熱中症対策として非常に重要です。
- しかしながら，小規模な現場では設置場所が限られるという問題があり，なかなか有効な対策が行えていないのが現状です。
- そのような場合でも，工夫をすれば有効な休憩所を整備することができます。



大規模な建設現場における本格的な休憩所の例

小規模建設現場における休憩所の例

- 足場材を利用した休憩所の例です。
 - 屋根で日射を遮り，ミスト付き扇風機で暑さを和らげています。
 - 狭いスペースに，材料費をかけずに少しでも有効な休憩所を設置できる，好事例です。



倉庫内に設置した簡易休憩所の例

- これは、倉庫内にビニールハウス製の簡易休憩所を設置した例です。
 - スポットクーラーと長椅子を設置し、涼しい環境で休めるように工夫されています。
 - 作業現場から休憩所が遠い場合、このような簡易休憩所を設置することは効果的です。



水分・塩分の摂取

- ガードマンボックスを活用した，水分・塩分の補給場所です。
 - 鍵がかかり，電源が取れるため，ウォーターサーバー等を設置するのに適しています。
 - 本格的な休憩所が設置できない場合の方法として，うまく工夫されています。



WBGT値の低減（暑さをやわらげる）

- 作業中の暑さを少しでも低減することは、作業を続ける上で重要です。
 - 屋根を付けて日差しを遮る，ミスト付き扇風機でWBGT値の低減を図るなどの方法があります。



屋根の設置



ミスト付き扇風機の使用

WBGT値によって 休憩サイクルを変える

- WBGT値が高い（暑さが厳しい）ときは、休憩の頻度を上げたり、休憩時間を長く取ることが有効です。
 - 納期や元請けからの指示等で難しい場合もあるかもしれませんが、出来る範囲で休憩を取ることが必要です。
 - あらかじめ、基準値からのWBGT超過に応じた休憩サイクルや、作業中止の基準を決めておくことが大切です。



作業中止を検討

WBGT値が上昇

小規模の良さを生かして コミュニケーションを取る

- 小規模現場，小規模事業所では，規模の小ささがメリットとなることもあります。
 - 作業者，従業員とのコミュニケーションを取り，体調不良等の異常を見逃さないことが大切です。
 - 皆が顔見知りの小さな組織だからこそ，小さな異常を見つけることができます。



出来る範囲で、少しでも有効な対策を工夫しましょう

- お金をかけなくても、場所がなくても、工夫することで有効な熱中症対策を行うことは可能です。
- 他社の良い事例を参考に、工夫してみてください。
- 皆で知恵と力を出し合って、暑さに打ち勝ちましょう！

WBGT値、確認ヨシ！



チューイカン吉